

氏名	岡 田 聡 子
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博乙第 2949号
学位授与の日付	平成7年12月31日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	Blood Microvascular Organization of the Nasal-Associated Lymphoid Tissue of the Guinea pig : A Scanning Electron Microscopic Study of Corrosion Casts (モルモットのNALTの微小血管構築：血管鋳型の走査電子顕微鏡観察)
論文審査委員	教授 村上 宅郎 教授 松尾 信彦 教授 佐々木順造

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

モルモットにおいて、他の齧歯類と同様、鼻咽頭管入口部にnasal associated lymphoid tissue (NALT) と呼ばれるリンパ濾胞の集積を認めた。このNALTの微小血管構築を樹脂鋳型を用いて走査電顕で観察した。流入動脈はNALT底部より濾胞内及び濾胞間に進入し管腔上皮面に向かって上行しながら多数の毛細血管を分岐し、濾胞内及び濾胞間毛細血管網を形成する。上皮下領域に達すると、ここでも密な上皮下毛細血管網を形成する。やがてこの流れは集合小静脈に集められ、濾胞間領域の高内皮小静脈(HEV) に注ぐ。HEV は、濾胞内及び濾胞間毛細血管網からの流れも受けながら濾胞間領域を下り、NALT底部で流出静脈に注ぐ。鋳型上では、高内皮細胞の突出による血管表面の圧痕が著明だった。この圧痕は上皮直下でより著明であり、HEV分化を促す物質が上皮下毛細血管網からとりこまれて小静脈に集まるという仮説と合致した。

なお、本論文は共著論文であり、共著者の協力を得て完成したものである。

論 文 審 査 結 果 の 要 旨

本研究はモルモットにnasal associated lymphoid tissue(NALT)の存在を確認した。そして、この組織の微小血管構築を鋳型走査電顕法で明瞭に解析し高内皮静脈の分布等について重要な知見を得た。

よって本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。